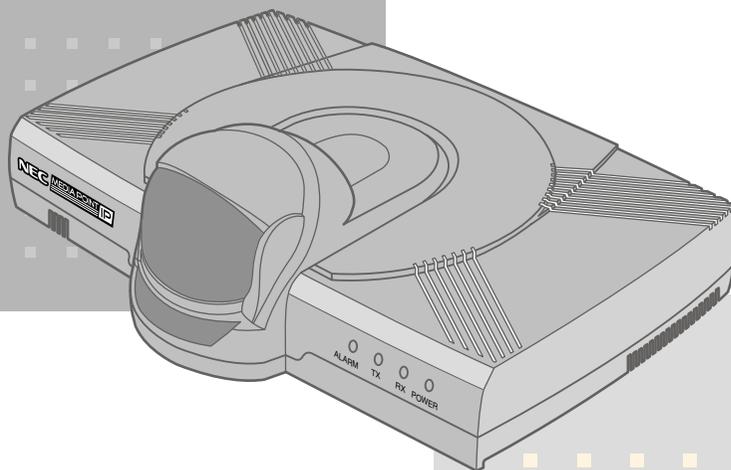


MEDIAPOINT **MP3**

リファレンスガイド



目次

| | |
|--------------------------------|----|
| はじめに | 2 |
| 使用上のご注意 | 2 |
| ご使用の前に | 8 |
| リモートコントローラ、AMU-3100各部の役割 | 11 |
| ランプの説明 | 12 |
| セットアップ | 13 |
| 初期設定 | 16 |
| 会議を行う | 18 |
| 便利な機能 | 20 |
| 短縮ダイヤル登録 | 20 |
| 音量調節 | 21 |
| カメラ操作 | 21 |
| 受話音量調整（アナログ電話通信） | 22 |
| システム設定 | 23 |
| ネットワーク設定 | 24 |
| ポート番号 | 25 |
| 切断理由コード | 26 |
| 故障かな？ | 31 |
| アフターサービス | 32 |
| オプション品 | 33 |
| 仕様 | 33 |

はじめに

このたびはMEDIAPOINT IP3をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
 本書は、装置を安全にお使いいただくための使用上のご注意、セットアップの方法、操作の方法、および故障かなと思ったときの対処のしかたなどを説明しています。
 本書をよくお読みになり、末永くご愛用ください。

使用上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

警告マークについて

本書で使用している安全に関わる表示と、図記号の意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本書をお読みください。



警告 指示を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意 指示を守らないと、人が障害を負うおそれがある内容および物的損害が想定される内容を示しています。

警告表示の種類



発煙または発火のおそれがあることを示しています。



感電のおそれがあることを示しています。



けがを負うおそれがあることを示しています。



安全のため、機器の分解を禁止することを示しています。



安全のため、電源ケーブルのプラグを必ず抜くように指示するものです。



安全のため、アース線を必ず接続するように指示するものです。

電源に関するご注意



警告



- 電源はAC100V ±10V(50/60Hz)の家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。異なる電圧で使用すると火災、感電、故障の原因となります。



- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグに金属などが触れると火災、感電の原因となります。
- 電源コードの上に物を載せないでください。コードの損傷により、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの接続は、テーブルタップ、分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。コンセントが過熱し、火災、感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタは、必ず本機に添付のものをお使いください。他のものを使用されると、火災、故障の原因となります。



注意



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードの損傷による火災、感電の原因となることがあります。



- 濡れた手で電源プラグおよびACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 電源プラグをコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本体に触れないでください。感電の原因となることがあります。

- 機器を接続する場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントに接続したまま機器を接続すると、感電の原因となることがあります。

保管および使用環境に関するご注意



警告



- 本機を風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



- 設置環境条件は温度5~35℃/湿度20~80%です(結露しないようにご注意ください)。
- ラックに設置する場合、規格以外のラックで使用しないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。



注意



- 本機を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本機を直射日光の当たるところや、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



- 本機を不安定な場所(不安定な台の上や傾いた所など)に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。

- 本機を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちてけがの原因となることがあります。
- ラジオやテレビの受信している付近で使用しないでください。ラジオやテレビにノイズが入ったり、本機の動作が異常になることがあります。
- 本機をテレビに接続した状態でテレビ放送を受信すると、画面にノイズが入ることがあります。このような場合、本機の電源をオフにしてご使用ください。
- 本機は空冷のため、通気孔に物を置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 本機の側面を5cm以上空けてください。

禁止事項



警告



- 本機の近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などの液体の入った容器を置かないでください。液体がこぼれたり、中に入ったりした場合、火災、感電、故障の原因となります。



- アース線は、絶対にガス管につながないでください。



- 当社サービスマン以外は、本機を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- 当社サービスマン以外は、本機内部の点検、調整、掃除、修理は危険ですから絶対にしないでください。本機の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。

- 本機内部の点検、調整、掃除、修理は、お買い求めの販売店またはVOICEPOINTセンターに依頼してください。



注意



- 本機や電源コードを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本機の通気孔などの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 本機の上に乗ったりしないでください。壊れてけがの原因となることがあります。

- 本機の使用直後は、装置内部に発熱する部分があるため、手を触れるとやけどをするおそれがあります。

異常時およびトラブルに関するご注意



警告



- 万一、本機の内部に水等が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはVOICEPOINTセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



- 万一、本機を落としたり、破損したりした場合、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはVOICEPOINTセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い求めの販売店またはVOICEPOINTセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コード等が傷んだときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはVOICEPOINTセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。



注意



- 落雷のおそれがあるときは、本機の電源をオフにし、必ず電源プラグをコンセントから抜いて使用をお控えください。雷によって、火災、感電、故障の原因となることがあります。



- 雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、機器を接続したりしないでください。感電の原因となることがあります。



お手入に関するご注意



注意



- 本機のお手入れの際は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- 必ずアース線を接続しないと、感電、故障の原因となります。



- ベンジン、シンナーなど揮発性の薬品では拭かないでください。変形、変色の原因となります。汚れがひどいときは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。

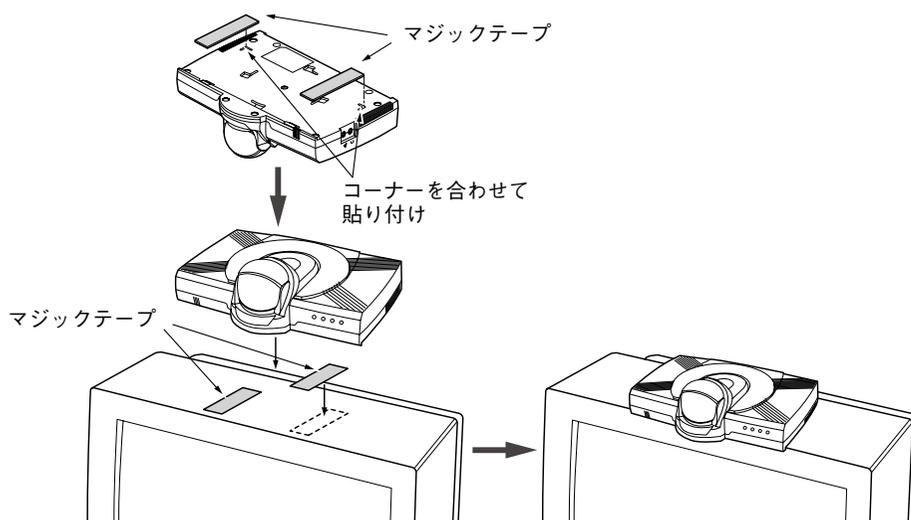
廃棄時のご注意

本機器を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせいただくか、お買い求めの販売店にご依頼ください。

テレビの上に設置する際のご注意

落下防止のため、添付のマジックテープで固定してください。

テレビの上に置くときは、テレビ前面の上端にMEDIAPOINT IP3本体前面下部の突起を掛けるようにしてください。



輸出する際のご注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

商標・知的財産権について

本製品にはGNU General Public license(GPL)、GNU Lesser General Public license(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれます。当該ソフトウェアに関する詳細については、本製品付属CD-ROMをご参照ください。

本製品で使用しているソフトウェアの大部分はBSDの著作とGNUのパブリックライセンスの条項に基づいて自由に配布することができます。ただし、アプリケーションの中には、その所有者に所有権があり、再配布に許可が必要なものがあります。

本製品で使用しているオープンソースコードについては弊社へお問い合わせください。

linuxはLinus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

PolycomおよびPolycomロゴは、Polycom, Incの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

著作権情報

本装置は、Dr Brian Gladman 博士が著作権を所有しているソフトウェアが一部含まれています。

Copyright (C) 2001, Dr Brian Gladman <brg@gladman.me.uk>, Worcester, UK. All rights reserved

ライセンス条件：

ソース形式およびバイナリ形式での本ソフトウェアの無料配布および使用(変更の有無にかかわらず)は、次の条件を満たしている場合のみ許可されます。

- 本ソースコードの配布には、上記著作権通知、本条件および次の免責事項を含める。
- バイナリ形式の配布には、マニュアルおよびその他の関連文書(またはそのいずれか)に、著作権通知、本条件および以下の免責事項を含める。
- 書面による許可なしに、著作権保有者の名称を、本ソフトウェアを使用した製品の保証を目的として使用しない。

免責事項

本ソフトウェアは、現状のままで提供されるもので、目的に対する正当性や適合性に限らず、その内容に関して、一切、保証を行いません。

ご使用の前に

本装置の特長

MEDIAPOINT IP3は、電動カメラを内蔵し、ADSL/FTTH/企業内LANなどのブロードバンドネットワークと一般電話回線ポートを標準装備した少人数用テレビ会議システムです。

◎ 高品質で滑らかな映像

本製品の解像度は、4SIFフォーマット(704 x 480)をサポート。

従来のテレビ会議端末で利用されていたCIFフォーマット(352 x 288)の符号化解像度に比べ、鮮明な映像を送信することができます。

ホワイトボードや黒板をカメラで撮影したり、画書カメラで資料を撮影した場合でもはっきりとしたクリアな映像を提供します。

(4SIFをサポートした端末同士の接続時に限ります)

◎ 帳広帯域音声(ワイドバンドからスーパーワイドバンドへ)

7kHzの音声周波数帯域のワイドバンド音声から、14kHzに音声周波数を広げたスーパーワイドバンド音声をサポート。

高音質で、臨場感のある会話を実現します。

◎ 電話参加

IPネットワークと一般の加入者電話回線ネットワーク(PSTN)のインタフェースを標準装備しており、外出先などから、IPネットワークによるテレビ会議に、一般電話や携帯電話から音声のみ参加することが可能です。

◎ プレゼンテーション受信

H.239に準拠したPCプレゼンテーションの受信機能を標準装備しています。テレビ会議の映像を表示しながら、受信するパソコンの会議資料を表示することができます。

(本機能は、受信機能のみになります。)

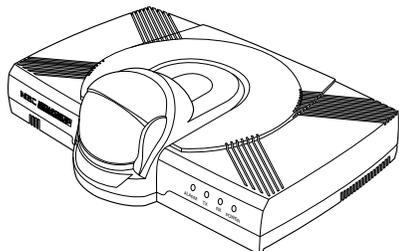
◎ クリアで臨場感ある音声

添付されている専用マイクAMU-3100(Advanced Microphone Unit)は、スーパーワイドバンド音声(約14kHz帯域)に対応した高性能エコーキャンセラと話者方向自動検知機能を実装しており、室内の人物の遠近によらず、クリアな音声を集音することができ、臨場感のある会話を提供します。

製品と付属品を確認してください

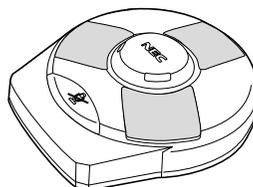
MEDIAPOINT IP3をご使用になる前に、箱の中身を確認してください。

MEDIAPOINT IP3本体

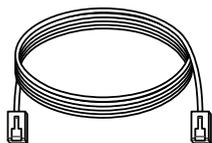


TC-3150

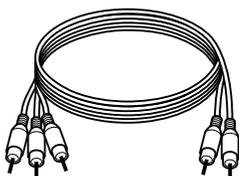
AMU-3100



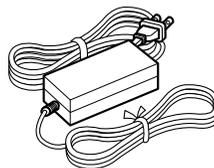
LANケーブル



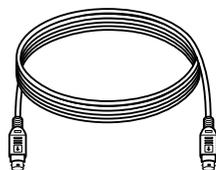
AVケーブル



ACアダプタ
(ACケーブル付)



AMU接続ケーブル



専用リモートコントローラ

マジックテープ

取扱説明書 (CD-ROM)

リファレンスガイド

AMU-3100取扱いの手引き

アルカリ単三乾電池 (2本)

回線ケーブル (TEL用)

設置場所

1. 使用する回線と機器を確認します。

MEDIAPOINT IP3をご利用いただくには、IP通信のできる回線(企業内IPネットワーク・FTTH・ADSL・ケーブルテレビ等)が必要です。設置の前に、回線が使用できる状態になっていることを確認してください。

また、ADSLモデムなどの電源が入っていることを確認してください。ADSLモデムなどのご使用方法については、各機器の取扱説明書を参照してください。

2. カメラの設置場所を決めます。

見やすくきれいな画像を送るために、以下の点に注意してカメラの設置場所を決めてください。

- 背景には物を置かず、動きの少ない場所で

背景に濃淡があったり、後ろで人が歩き回ったりすると、画像が見にくくなります。背景色は明るめの単色で統一すると画像が見やすくなります。

- 被写体が明るくなるように

被写体が暗いところにいたり、逆光になったりすると画像が見にくくなります。ライトを当てるなど、被写体に光が当たるようにすると、きれいに映ります。

3. AMU-3100の設置場所を決めます。

聞きやすい音声を送るために、以下の点に注意してAMU-3100の設置場所を決めてください。

- 振動の少ない場所へ

会議机が振動するとノイズの原因となります。

机の端を避け、揺れにくい場所に設置してください。

また、机やAMU-3100を叩いたりしないようにしてください。

エアコンなどの風が直接AMU-3100に当たる場所は避けて設置してください。

- マイクに近づきすぎない

AMU-3100は、すべての方向から声を收音するための高感度マイクを3か所備えています。通常の会議のようにお話しください。

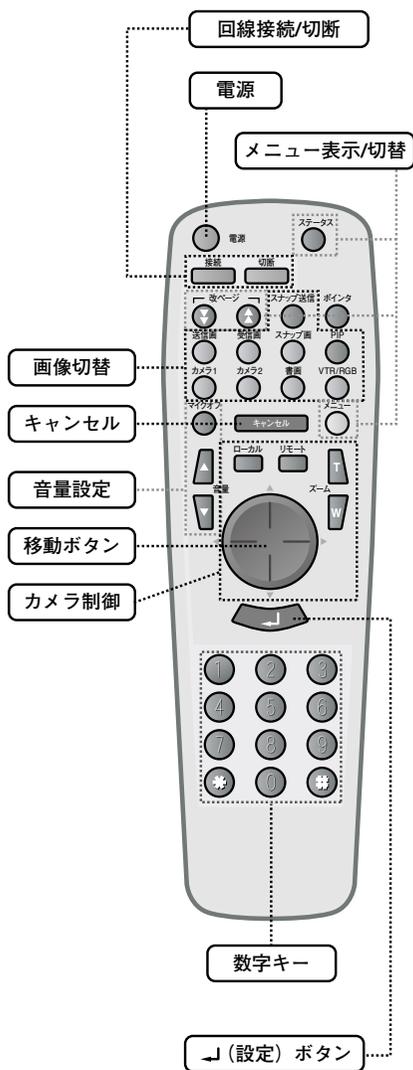
マイクから口元まで、2m以内(推奨1m)の距離でお話しください。マイクに近づきすぎると音割れやノイズの原因となります。

- スピーカーに近づけすぎない

AMU-3100をスピーカーに近づけすぎるとハウリングが起こることがあります。AMU-3100とスピーカーは、なるべく離れた場所に設置してください。

リモートコントローラ、AMU-3100 各部の役割

リモートコントローラ



全般

| | |
|----------------|---|
| 電源 | スタンバイ電源のON/OFFを行います。主電源のON/OFFは、本体電源スイッチで行います。 |
| キャンセル | メニュー表示の解除などを行います。文字入力時に文字削除にも使います。 |
| ↓ (設定) | 登録・設定中に入力した項目を確認します。 |
| 数字キー (0~9、#、*) | 電話番号やIPアドレスの入力などを行います。IPアドレスの区切り (.) は「#」で入力されます。 |

回線接続 / 切断

| | |
|----|-----------------|
| 接続 | 回線接続メニューを表示します。 |
| 切断 | 回線を切断します。 |

メニュー表示 / 切替

| | |
|--------------|--|
| メニュー | メニュー画面を表示します。 |
| ステータス | 通信状態を確認できます。 |
| 改ページ (▲/▼) | メニュー画面や短縮ダイヤル画面など、複数の画面で構成されている画面のページの切り替えを行います。 |
| 移動ボタン (△▽◀▶) | 登録・設定を行うときに、設定項目を選択します。 |

画像切替

| | |
|---------|---|
| 画像切替ボタン | ボタンに対応する画像 (送信画や受信画、カメラ1・2) の切り替えを行います。 |
|---------|---|

カメラ制御

| | |
|----------|------------------------------|
| カメラ制御ボタン | ズームや移動など、カメラの動作を制御する動作を行います。 |
|----------|------------------------------|

音量設定

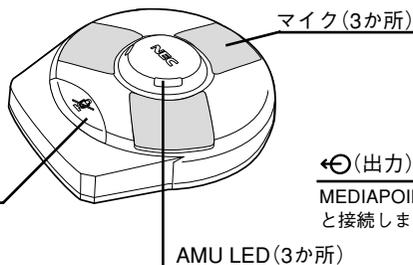
| | |
|---------|----------------------|
| 音量設定ボタン | マイクのON/OFFや音量調節をします。 |
|---------|----------------------|

⚠ 注意 使用上の注意を守ってください。

1. リモートコントローラは電池を入れてご使用ください。また、故障の原因となりますので電池を交換する際は、必ず(+)と(-)の向きを確かめ、2本同時に新しい電池を交換してください。
2. リモコン操作は、テレビではなく、MEDIAPoint IP3本体に向けて行ってください。

AMU-3100

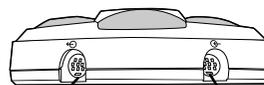
[本体]



マイクオフボタン
マイクON/OFFを
切替ます。

AMU LED (3か所)
マイクオフ状態/話者方向などを
表示します。

[背面]

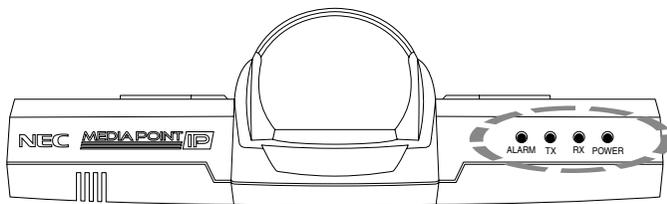


←(出力)
MEDIAPPOINT IP3本体
と接続します。

→(入力)
2台目のAMU-3100
を接続します。

ランプの説明

本体前面のランプで本装置の動作状態を表示します。



ランプ点灯条件

POWERランプ

| 状態 | POWER |
|-----------|-------|
| 装置起動 | 緑色点灯 |
| スタンバイ状態 | 橙色点灯 |
| スタンバイ解除状態 | 緑色点灯 |

ALARMランプ

| 状態 | ALARM |
|------------------------------|-------|
| 装置内の異常、または 通信先からのリモートアラーム | 赤色点灯 |

TX/RXランプ

| 状態 | TX | RX | 備考 |
|---------|------|------|-----------------------------|
| 接続中/呼出中 | 橙色点滅 | - | - |
| 通信中 | 正常 | 緑色点滅 | 受信状態をランプの点滅で示します。 |
| | 異常 | 橙色点滅 | IP通信時、パケットロスした場合に 点滅します。 |

AMUランプ

| 表示色 | 状態 |
|---------|---|
| 赤色 (点灯) | マイクオフ状態を示します。 |
| 緑色 (点滅) | マイクオン状態を示します。 緑色点滅時は話者方向を検出してクリアな音声を收音します。 |
| 橙色 (点灯) | AMU接続ケーブルが誤って接続されている可能性があります。*1*2 |

*1 ケーブルの接続をお確かめのうえ、症状が変わらない場合はお買い求めの販売店までご連絡ください。

*2 本体には、必ずAMU-3100(TC-3100-AMU)を接続してご使用ください。

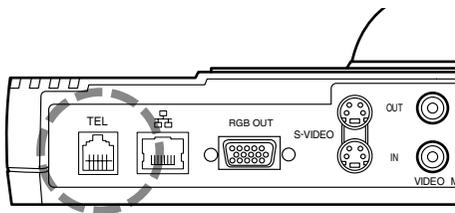
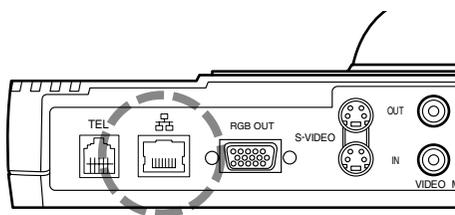
異なる型番のAMU(TC-2200-AMU、AEC-200-AMUなど)を接続した場合にも橙色(点灯)となります。

セットアップ

MEDIAPOINT IP3の背面端子からの各機器への接続

1～6の手順で回線ケーブル、電源、周辺機器などの接続を行います。

1 回線ケーブルをつなぎます。



IP通信回線を使用する場合

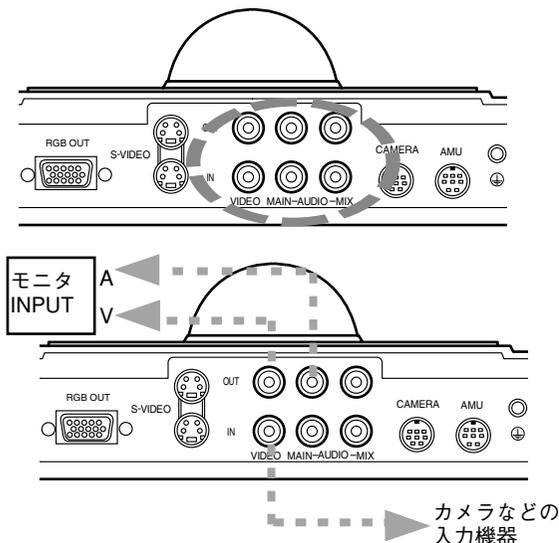
1. 「LAN」に回線ケーブルを“カチッ”と音がするまで差し込みます。
2. 反対側をADSLモデム、ケーブルモデム等の「LAN」に差し込みます。

「LAN」は、接続する機器により「Ethernet」、「イーサポート」、「LANポート」などと表示されていることがあります。

一般電話回線を使用する場合

1. 「TEL」に回線ケーブルを“カチッ”と音がするまで差し込みます。
2. 反対側を一般電話回線の「モジュラージャック」に差し込みます。

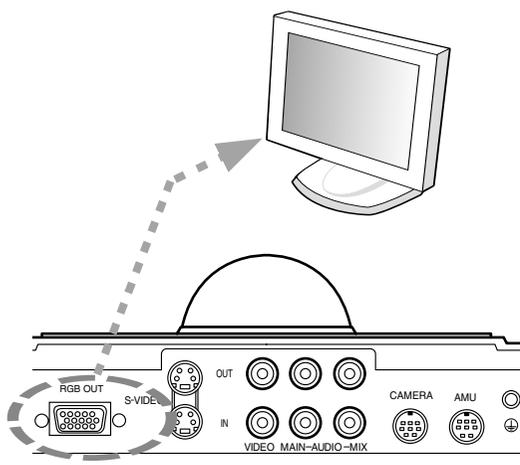
2 AVケーブルをつなぎます。



1. 「OUT」側の「VIDEO」、「AUDIO」にAVケーブルを差し込み、反対側をテレビ・外部機器の「VIDEO」、「AUDIO」端子に接続します。
2. 「IN」側の「VIDEO」、「AUDIO」端子にAVケーブルを差し込み、外部カメラやVTRを接続します。

- 「S-VIDEO」を使用すると、より高画質な映像を表示することができます。接続するテレビに「S-VIDEO」が付いている必要があります。S-VIDEOケーブルは別にお買い求めください。
- テレビの「VIDEO」および「S-VIDEO」は、テレビにより「外部入力」、「VIDEO IN」、「ビデオ入力」、「映像入力」等と表示されていることがあります。
- 映像を表示するには、テレビ側のケーブルを差し込んだ端子とテレビのチャンネルまたは入力切替を合わせる必要があります。
例：「ビデオ2-映像」につないだ場合はテレビの入力切替を「ビデオ2」に合わせます。
- VTRなどを接続する場合の設定・接続方法は取扱説明書(2章「カメラ切替」)を参照してください。

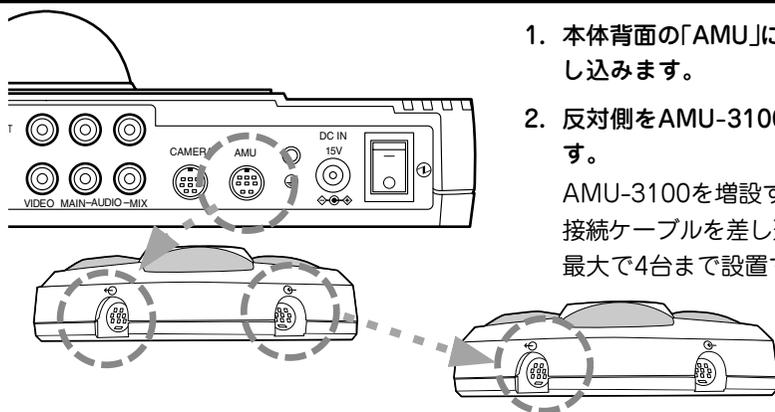
3 RGBケーブルでモニターまたはプロジェクタと接続します。



プレゼンテーション機能を使用する場合は、RGBケーブルで接続します。

1. 本体背面の「RGB OUT」にケーブルを接続します。
2. 反対側をモニターまたはプロジェクタに接続します。

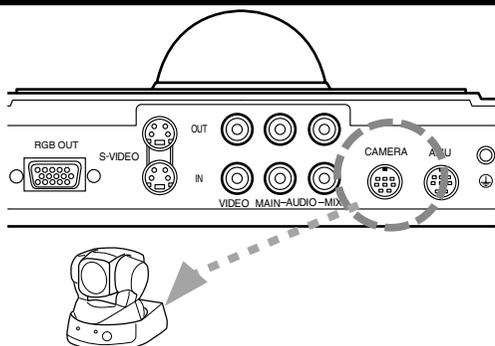
4 AMU-3100をつなぎます。



1. 本体背面の「AMU」にAMU接続ケーブルを差し込みます。
2. 反対側をAMU-3100の「←⊖」に差し込みます。

AMU-3100を増設する場合、「⊖」にAMU接続ケーブルを差し込みます(AMU-3100は最大で4台まで設置することができます)。

5 外部カメラを接続します。

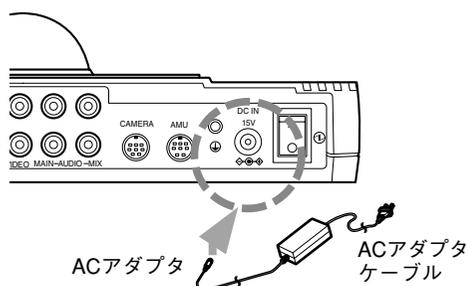


制御可能なカメラを接続した場合、カメラ制御を行うことができます。

1. 本体背面の「CAMERA」にカメラ制御ケーブルを差し込みます。
2. 反対側を外部カメラに接続します。

カメラ制御ケーブル(TC-2100-C1)は別売です。

6 ACアダプタをつなぎ、電源を入れます。



1. ACアダプタケーブルをACアダプタに差し込みます。
2. 本体背面の「DC IN」にACアダプタを差し込みます。
3. ACアダプタケーブルをコンセントに差し込みます。

主電源スイッチをオンにすると前面のPOWERランプが緑色に点灯し、本体スピーカから起動音が鳴ります。テレビの電源を入れ、AVケーブルを接続した端子にチャンネルまたは入力切替を合わせると、初期設定画面が表示されます。

画面に何も映らない場合は次のことを確認してください。

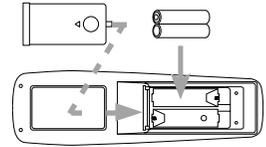
- テレビのチャンネルまたは入力切替が合っているか。
- AVケーブルの接続がゆるくなっていないか。
- 接続が間違っていないか。

初期設定

本装置をご利用になる前に必要な設定を行います。

初期設定を行う前に、「セットアップ」(13ページ)を行ってください。

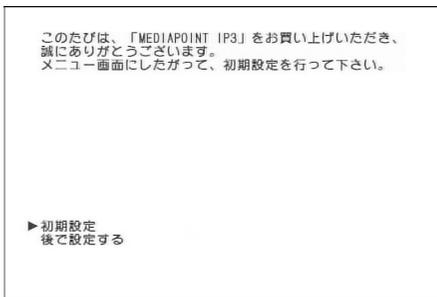
MEDIAPOINT IP3の操作はリモコンで行います。設定を行う前にリモコンに電池が入っていることを確認してください。



初期設定画面は、お買い上げいただいた後、最初の1回のみ表示されます。一度設定すると以降は表示されませんので、変更する場合は「メニュー画面」→「環境設定」→「システム設定」および、「メニュー画面」→「環境設定」→「ネットワーク設定」(24ページ)で変更してください。

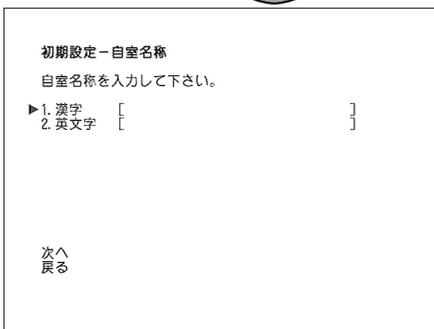
1 主電源スイッチをオンにします。

- 1 セットアップ画面表示後、下記の画面にて、△▽でカーソル(▶)を「初期設定」に合わせて  を押します。



2 自室名称を入力します。

- 1 漢字・英文字を選び、  を押します。

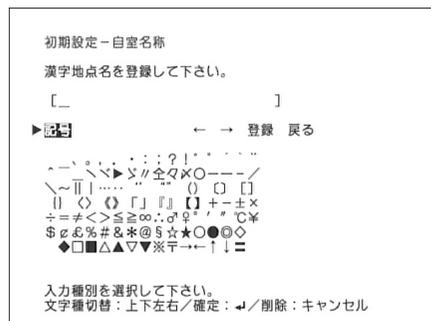


- 2 入力する文字の種類を△▽◀▶で選び、  を押します。

- 3 △▽◀▶で文字を選び、  で入力します。

- 4 すべての文字を入力したら、カーソルを「完了」に合わせて  を押します。

修正するときはカーソルを「削除」に合わせて  を押し、修正する文字を削除してから入れ直します。



3 IP ネットワークを設定します。

- ① 「PPPoE」を選び、「使用する」または「使用しない」を設定します。

ご使用になるインターネットプロバイダによって、設定は異なります。「使用する」を選んだ場合は「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。

初期設定-ネットワーク設定

IPネットワークの情報を設定して下さい。

▶ 1. PPPoE機能 : < 使用する >
ユーザ名 : []
パスワード : []

2. DHCP機能 : < 使用しない >
IPアドレス : [. . .]
ネットマスク : [. . .]
ゲートウェイ : [. . .]

3. プライマリDNS : [. . .]
4. セカンダリDNS : [. . .]

次へ
戻る

- ② 「DHCP機能」を選び「使用する」または「使用しない」を設定します。

「使用しない」を選んだ場合は「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を入力します。

- ③ 必要に応じ、プライマリDNSとセカンダリDNSを選び、DNSサーバのアドレスを入力します。

- ④ カーソルを「次へ」に合わせて  を押します。

アドバイス

フレッツADSL、BフレッツのADSLモデム、回線終端装置に直接接続する場合は、PPPoEを「使用する」に設定してください。

ブロードバンドルータが接続される場合は、PPPoEを「使用しない」に設定して、DHCP機能を「使用する」に設定してください。

企業内IPネットワークで、IPアドレスが決まっている場合は、PPPoEを「使用しない」、DHCP機能を「使用しない」に設定して、「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNS」を設定してください。

4 初期設定を完了します。

初期設定-再起動

全ての初期設定が終了しました。
設定を完了するには、再起動が必要です。

▶ 再起動
戻る

- ① 再起動を選び、  を押します。

会議を行う

相手先との接続

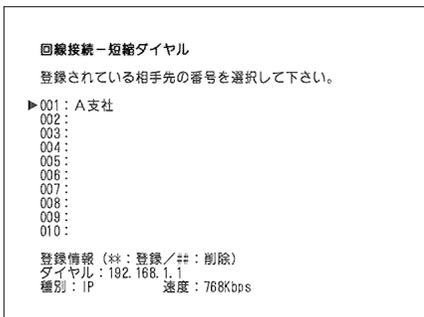


回線接続メニューで、「短縮ダイヤル」、「直接ダイヤル」、「リダイヤル」の3通りの接続方法を選べます。
装置起動時には、回線接続メニューが表示されます。
IPアドレスを設定または取得した場合は、自室IPアドレスG(グローバル)、自室IPアドレスP(プライベート)が表示されます。

| | |
|--------------|---|
| 短縮ダイヤルで発信する。 | よく使う番号を短縮ダイヤルに登録しておく、簡単に相手先と接続できます。 あらかじめ相手先のIPアドレスを登録しておきます。 「短縮ダイヤルを登録します」(20ページ) |
| 直接ダイヤルで発信する。 | 相手先のIPアドレスを直接入力して相手先を呼び出します。 |
| 通信履歴から発信する。 | 前に接続した相手先と簡単な操作で接続できます。 |

短縮ダイヤルで発信します。

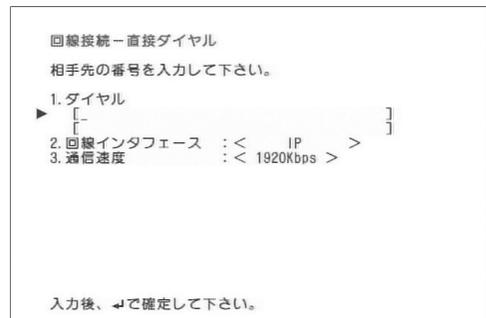
- 1 **接続** を押します。
- 2 「Speed Dial」アイコン(短縮ダイヤル)を選び、**Enter** を押します。
- 3 相手先の短縮ダイヤル番号を選び、**Enter** を押します。
相手先を呼び出します。
「短縮ダイヤルの登録」は(20ページ)を参照してください。



相手先と接続できない場合は、「切断理由コード」(26ページ)を参照してください。

直接ダイヤルで発信します。

- 1 **接続** を押します。
- 2 「Manual Dial」アイコン(直接ダイヤル)を選び、**Enter** を押します。
- 3 カーソルを「ダイヤル」に合わせます。



- 4 数字キーで相手先の電話番号を入力します。
修正するときは修正する文字を **キャンセル** で削除してから入れ直します。

⑤ 回線インタフェースにて、「IP」もしくは「アナログ電話」を選択します。

⑥ 設定が終わったら、を押します。相手先を呼び出します。

一般電話や携帯電話と通信する場合には、あらかじめ加入者電話回線を接続してください。

※回線交換機によっては、0発信等となっている場合があります。その場合、

0 →  → ダイヤル番号と入力します。

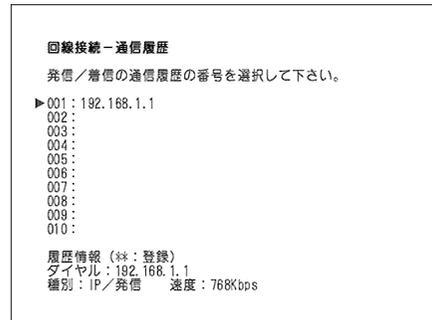
アナログ回線状況、ネットワークシステム環境、ユーザ環境等により音質、音量等の通話品質を劣化させる場合があります。システムの通話品質を保つためには、電話回線から同一ネット会議への参加は、一般電話機1台のみの接続を推奨いたします。

通信履歴から発信します。

① を押します。

② 「History」アイコン(通信履歴)を選び、を押します。

③ リダイヤルする番号を選び、を押します。相手先を呼び出します。

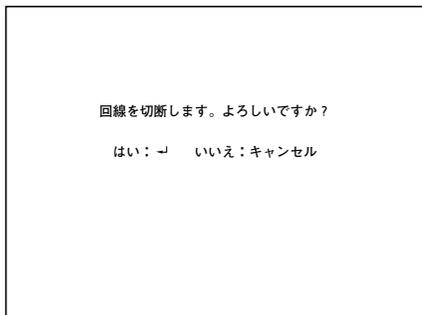


回線の切断

会議が終わったら、回線を切断します。

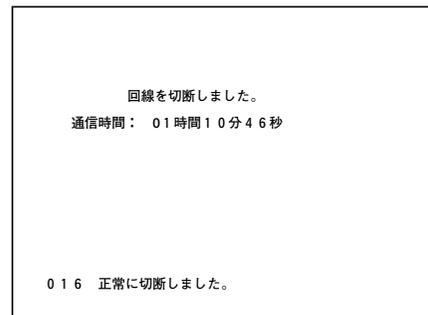
① 「回線切断」画面を表示します。

① を押します。



② 回線を切断します。

① を押します。回線が切断されます。



便利な機能

短縮ダイヤル登録

短縮ダイヤルに相手先のIPアドレスまたは電話番号を登録しておくと、簡単な操作で発信することができます。

① 「メインメニュー」画面を表示します。

- ① ^{メニュー}  を押します。

② 「短縮ダイヤル登録」を選びます。

- ① 「User Setting」アイコン(ユーザ設定)を選び、 を押します。

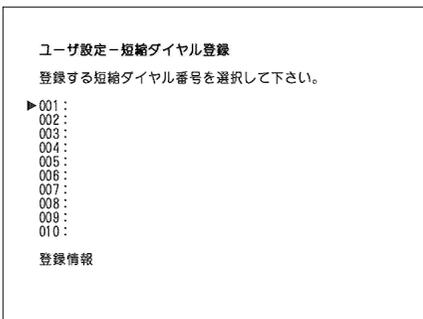


- ② 「Dial Entry」アイコン(短縮ダイヤル登録)を選び、 を押します。



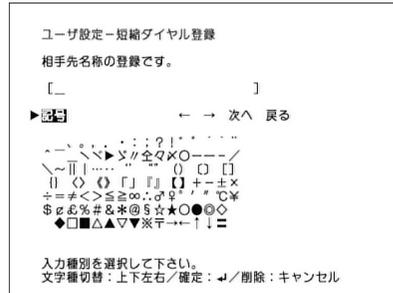
③ 短縮ダイヤル番号を選びます。

- ① 登録する短縮ダイヤル番号を選び、 を押します。



④ 相手先の名前を入力します。

- ① 入力する文字の種類を△▽で選び、 を押します。

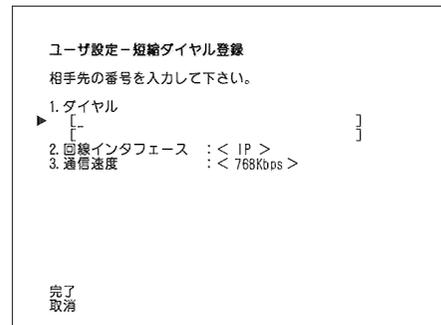


- ② △▽◀▶で文字を選び、 で入力します。

- ③ すべての文字を入力したら、カーソルを「次へ」に合わせて を押します。
修正するときはカーソルを「削除」に合わせて を押し、修正する文字を削除してから入れ直します。

⑤ 相手先のIPアドレスを入力します。

- ① 数字キーで相手先のIPアドレスまたは電話番号を入力し、「回線インターフェース」、「通信速度」を選びます。
IPアドレスの区切り(.)を入力するときは、 を押します。



- ② カーソルを「完了」に合わせて  を押し
ます。

修正するときは修正する文字を  で削除し
てから入れ直します。

※回線交換機によっては、0発信等となってい
る場合があります。その場合、
0 →  → ダイヤル番号
と入力します。

音量調節

受信音量を調節します。

 を押すと音が大きくなります。

 を押すと音が小さくなります。

自室のマイクをオフにします。

相手にこちらの声を聞かれたくないときに、一時的にマイクをオフにします。

マイクオフ

 を押すとマイクがオフになります。

マイクオフ
もう一度  を押すとマイクがオンになります。

AMU-3100でもマイクオフできます(マイクオフ中、AMU-3100のAMU LEDが赤色に点灯しま
す)。

カメラ操作

制御可能なカメラを接続した場合のみ可能な機能となります。

カメラを操作します。～ズーム/パン/チルト～

 を押すとこちら側のカメラを操作できます。

 を押すと相手側のカメラを操作できます。

 を押すと被写体が大きくなります。

 を押すと被写体が小さくなります。

 を押すとカメラのパン(左右動作)を行います。

 を押すとカメラのチルト(上下動作)を行います。

受話音量調整（アナログ電話通信）

外出先のメンバーに会議参加してもらうなど、一般電話や携帯電話から音声のみ参加することが可能です。

アナログ電話と通信する際、会話が聞き取りにくい場合などに受話音量を調整します。



- ⏮️を押すと受話音量が下がります。
- ⏭️を押すと受話音量が上がります。

アナログ回線状況、ネットワークシステム環境、ユーザ環境等により音質、音量等の通話品質を劣化させる場合があります。システムの通話品質を保つためには、電話回線から同一ネット会議への参加は、一般電話機1台のみの接続を推奨いたします。

システム設定

システム設定の中でも、主要な設定について説明します。

① 「メインメニュー」画面を表示します。

① ^{メニュー} を押します。

② 「システム設定」アイコンを選びます。

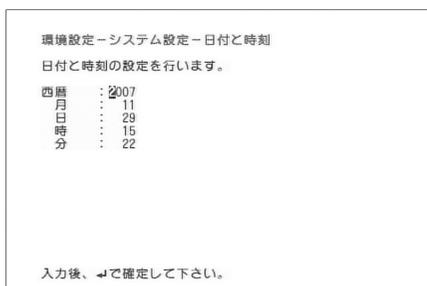
① 「Environment」アイコン(環境設定)を選び、を押します。



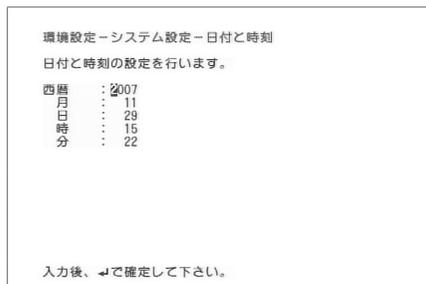
② 「System」アイコン(システム設定)を選び、を押します。



③ 「日付と時刻」を設定します。



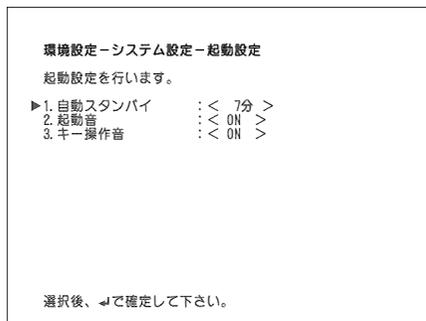
① 「日付と時刻」を選び、を押します。



② 「西暦」、「月」、「日」、「時」、「分」にカーソルを合わせ、数字キーで入力後、を押します。

④ 「起動設定」を設定します。

① 「起動設定」を選び、を押します。



② 「自動スタンバイ」を選び、自動スタンバイに関する設定をします。

自動スタンバイを行うまでの時間を「OFF」～「10分」まで1分単位で設定できます。

③ 「起動音」を選び、「ON」、「OFF」を設定します。

④ 「キー操作音」を選び、「ON」、「OFF」を設定します。

⑤ 設定が終わったら、を押します。

ネットワーク設定

ネットワーク設定の中でも、主要な設定について説明します(詳細は「取扱説明書」(3章「環境設定」)を参照してください)。

① 「メインメニュー」画面を表示します。

① ^{メニュー}  を押します。

② 「環境設定」アイコンを選びます。

① 「Environment」アイコン(環境設定)を選び、 を押します。



② 「Network」アイコン(ネットワーク設定)を選び、 を押します。



③ 「IP ネットワーク」を設定します。

環境設定-ネットワーク設定
ネットワーク関連の設定を行います。

- ▶ 1. IP ネットワーク
2. IP マスカレード (NAPT)
3. IP オフショーン
4. 通信モード
5. 最大通信速度
6. H. 323
7. SIP

① 「IP ネットワーク」を選び、 を押します。

環境設定-ネットワーク設定-IP ネットワーク

IP ネットワークの設定を行います。

- ▶ 1. PPPoE 機能 : < 使用しない >
- 2. DHCP 機能 : < 使用する >
- 3. プライマリ DNS : [: : :]
- 4. セカンダリ DNS : [: : :]

入力後、 で確定します。

「PPPoE」、「DHCP 機能」、「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」の登録手順は、「初期設定」の「③ IP ネットワークを設定します。」(17 ページ)と同じです。

設定後、装置が再起動されます。

② 設定が終わったら、 を押します。

ポート番号

UPnP 対応ルータの場合

MEDIAPOINT IP3はUPnPをサポートしているため、UPnP対応ルータの場合、自動的にポートマッピングを行います(ポートマッピングの設定は必要ありません)。詳細な設定に関しては、「取扱説明書」を参照してください。

UPnP 非対応ルータの場合

以下のポートマッピング情報を設定してください。

| プロトコル | Point-to-Point会議 | 備考 |
|-------|------------------|----|
| TCP | 1720 | - |
| | 51000~51017 | - |
| | 51100 | - |
| UDP | 5060 | - |
| | 61000~61017 | - |

ルータの設定に関しては、ルータの説明書を参照してください。

ポートマッピングはルータにより、「ポートフォワーディング」、「静的IPマスカレード」、「アドレス変換テーブル」、「静的NAT」などと呼ばれています。

- プロバイダから固定IPアドレスをもらっていない場合は、時間とともにグローバルIPアドレスが変わる場合があります(通信の途中でもグローバルIPアドレスが変わる場合もあります)。通信できない場合はルータのWAN側グローバルIPアドレスを確認してください。
- プロバイダによっては、WAN側にプライベートIPアドレスが割り付けられる場合があります。その場合、グローバルIPアドレスを割り付けるサービスに加入する必要があります。業務でご使用になる場合は、固定IPアドレスを取得されることをお勧めします。固定IPアドレスのサービスについては加入されているプロバイダにお問い合わせください。
- PPPoEプロトコルを用いたプロバイダを使っていてADSLモデム/回線終端装置とルータが別装置になっている場合は、ルータのかわりにMEDIAPOINT IP3を接続することで、通信を行うことができます。
- ルータ側で回線の切断を行った場合、しばらく通信ができなくなる場合があります。MEDIAPOINT IP3を接続する場合は、ルータでの通信ができるようになってから接続するようにしてください。

切断理由コード

通信中に回線が切断されると、テレビモニタの画面に3桁の数字(切断理由コード)とメッセージが表示されます。

以下の数字が表示された場合は、お客様ご自身で解決できる問題ですので、切断理由を参考に確認してください。

| メッセージ | 切断理由コード | 切断理由 | 処置 (一例) |
|-------------------|---------|----------------------------|-----------------------------|
| この番号は現在使われておりません。 | 001 | 現在欠番のため、着信できません。 | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。 |
| 使用可能な回線がありません。 | 002 | 指定中継網を認識できません。 | |
| | 003 | 相手先へのルートがありません。 | |
| 相手端末と通信できません。 | 006 | 指定されたチャンネルが利用できません。 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。 |
| このチャンネルは現在使用中です。 | 007 | 既に設定されているチャンネルに接続されました。 | |
| 正常に切断しました。 | 016 | 呼の切断復旧要求により切断しました。 | — |
| 相手側が話中(通信中)です。 | 017 | 現在、相手側が他と通信中です。 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。 |
| 相手端末の応答がありません。 | 018 | 呼設定のメッセージに対して応答がありません。 | 相手側端末の状態を確認してください。 |
| 相手を呼びましたが、誰も出ません。 | 019 | 呼出メッセージ受信後、応答がありません。 | |
| 接続できませんでした。 | 020 | 移動局ログオフまたは着移動局不通です。 | 回線の保守担当部門または、回線事業者へご相談ください。 |
| 相手側に接続を拒否されました。 | 021 | 着信呼を拒否されました。 | 相手端末の状態を確認してください。 |
| 相手先の番号が変わりました。 | 022 | 相手の端末番号が変更になっています。 | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。 |
| 着信が取り消されました。 | 026 | ユーザが着信呼を得られませんでした。 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。 |
| 相手側の電源が切れています。 | 027 | 相手端末の電源が入っていません。 | 相手側端末の状態を確認してください。 |
| 番号に誤りがあります。 | 028 | 無効なフォーマットまたは不完全番号です。 | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。 |
| このサービスは現在利用できません。 | 029 | 要求のファシリティが提供できません。 | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |
| 接続できませんでした。 | 030 | 状態問い合わせを受信しました。 | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。 |
| 正常に切断しました。 | 031 | その他の正常状況を報告しました。 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。 |
| 相手端末と通信できません。 | 034 | 現在、利用可能な回線/チャンネルがありません。 | |
| 回線の異常です。 | 038 | 網が機能的に正常ではありません。 | |
| 相手側の回線異常です。 | 041 | 一時的に網が正常ではありません。 | |
| ただいま回線が混み合っています。 | 042 | 交換機が混み合っています。 | |
| 接続できませんでした。 | 043 | アクセス情報要素を相手に送信できません。 | |
| 相手端末と通信できません。 | 044 | 通知された回線/チャンネルが提供できません。 | |
| ただいま回線が混み合っています。 | 047 | その他の網が混み合っている状態の報告です。 | |
| このサービスは現在利用できません。 | 049 | 要求されたQoSが提供されないことの報告です。 | |
| | | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 | |

| メッセージ | 切断理由コード | 切断理由 | 処置（一例） | |
|-------------------|---------|----------------------------------|----------------------------|------------------------|
| このサービスは現在利用できません。 | 050 | 要求ファシリティの手続きがされていません。 | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 | |
| 接続できませんでした。 | 057 | 未許可の伝達能力が要求されました。 | | |
| このサービスは現在利用できません。 | 058 | 現在利用不可の伝達能力が要求されました。 | | |
| この回線は現在利用できません。 | 063 | その他のサービス利用不可の報告です。 | | |
| このサービスは現在利用できません。 | 065 | 要求の伝達能力をサポートしていません。 | | |
| | 066 | 要求のチャネル種別をサポートしていません。 | | |
| | 069 | 要求の付加サービスをサポートしていません。 | | |
| 56kモードしか利用できません。 | 070 | 制限デジタル伝達能力のみサポートしていることの報告です。 | | |
| このサービスは現在利用できません。 | 079 | サービス未提供の報告です。 | | |
| もう一度おかけ直してください。 | 081 | 現在使用の呼番号と異なる呼番号を使用しています。 | | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。 |
| | 082 | 無効のチャネル番号が使用されました。 | | |
| 接続できませんでした。 | 083 | 中断呼識別番号と異なる番号が使用されました。 | | |
| | 084 | 使用中である中断呼識別番号が使用されました。 | | |
| | 085 | 呼識別番号が使用されていません。 | | |
| | 086 | 既に中断呼が切断されています。 | | |
| | 087 | グループメンバーではありません。 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。 | |
| 相手端末の種類が違います。 | 088 | 端末装置の属性が一致しません。 | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。 | |
| 使用可能な回線がありません。 | 091 | 中継網のフォーマットが正常ではありません。 | | |
| 接続できませんでした。 | 095 | その他の無効メッセージです。 | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 | |
| | 096 | 必要な情報要素が不足しています。 | | |
| | 097 | 未定義/未提供メッセージを受信しました。 | 相手の番号を確認して、おかけ直してください。 | |
| | 098 | メッセージの不一致です。 | | |
| | 099 | 情報要素が未定義です。 | | |
| | 100 | 情報要素の内容が未定義です。 | | |
| | 101 | 受信メッセージと呼状態が不一致です。 | | |
| | 102 | タイマの満了による回復です。 | | |
| | 111 | その他の手順に誤りがあります。 | | |
| | 127 | 動作するための理由表示ができない網でインタワークが発生しました。 | | |
| 相手を呼びましたが、誰も出ません。 | 901 | 発呼時、60秒経過しても応答がありません。 | 相手端末の状態を確認してください。 | |
| 電話線が外れています。 | 903 | 発呼時、回線（レイヤ1）が異常です。 | ケーブルが抜けていないか確認してください。 | |
| 回線に異常があります。 | 904 | 発呼時、回線（レイヤ2）が異常です。 | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 | |
| 回線異常が、契約が異なります。 | 905 | 回線が異常がまたは契約が異なります。 | | |

| メッセージ | 切断理由コード | 切断理由 | 処置 (一例) |
|----------------------------|---------|--|--|
| 回線に異常があります。 | 906 | 発呼時、回線 (レイヤ3) が異常です。 | |
| 初期化により切断しました。 | 908 | 網から初期設定要求を受信しました。 | 回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |
| | 909 | リスタート応答待ち時にタイムアウトとなりました。 | |
| 接続できませんでした。 | 916 | 内部状態不一致 (呼状態) です。 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。 |
| | 917 | レイヤ3初期化未完了です。 | |
| | 918 | レイヤ3初期化失敗です。 | |
| | 919 | 内部状態不一致 (CES指定) です。 | |
| 回線がはずれているか、または異常です。 | 920 | イーサネットリンク断です。 | |
| IP接続設定にてPPPoEの設定を確認してください。 | 921 | PPPoEリンク断です。 | 「ネットワーク設定」にて、「PPPoE」の設定を確認してください。 |
| IP接続設定にてユーザ名/パスワードが違います。 | 922 | PPP認証異常です。 | |
| 自局IPアドレスを設定してください。 | 923 | 自局IPアドレスが未設定です。 | 「ネットワーク設定」にて、IPアドレスの設定を確認してください。 |
| 自局IPアドレスが未取得です。 | 924 | 自局IPアドレス未取得です。 | 「ネットワーク設定」にて、「DHCP」ならびに「IPアドレス」設定を確認してください。 |
| IPアドレスが変更されました。 | 925 | リースIPアドレスの期間満了です。 | 新しく取得したIPアドレスを確認してください。 |
| DNSサーバアドレスが未取得です。 | 926 | DNSのIPアドレス未取得です。 | DNSサーバアドレスの通知がありません。契約されている回線業者またはインターネットプロバイダに確認してください。 |
| 要求URLがDNSに未登録です。 | 927 | 要求URLがDNSに未登録です。 | 契約されている回線業者またはインターネットプロバイダに確認してください。 |
| DNSサーバに接続できませんでした。 | 928 | DNSサーバへの接続に失敗しました。 | DNSサーバのIPアドレスを確認してください。 |
| DNSサーバアドレスを設定して下さい。 | 929 | DNSサーバのIPアドレスが未設定です。 | |
| ゲートキーバが見つかりませんでした。 | 930 | ゲートキーバへのメッセージ要求に応答がありません。 | ゲートキーバ設定およびゲートキーバを確認してください。 |
| ゲートキーバに登録できませんでした。 | 931 | ゲートキーバに登録できませんでした。 | |
| ゲートキーバから参加を拒否されました。 | 932 | ゲートキーバから参加を拒否されました。 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。 |
| 接続相手が見つかりませんでした。 | 933 | 接続相手が見つかりませんでした。 | 接続相手の状態およびゲートキーバに登録されているIP電話番号を確認してください。 |
| IP接続設定に誤りがあります。 | 935 | IPパラメータ異常などでH.323プロトコルスタックが起動できない状態で、発呼要求されました。 | 「ネットワーク設定」を確認してください。 |
| 相手端末と通信できません。 | 936 | H.323発呼時、TCPコネクションに対するエラー受信で切断しました。 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。 |
| ただいま回線が混み合っています。 | 939 | 一定時間以上、音声RTPパケットロスが継続しました。 | しばらくたってから、もう一度おかけ直してください。本現象が継続する場合、帯域不足または回線エラーが考えられます。回線の保守担当部門または回線事業者へご相談ください。 |
| 接続できませんでした。 | 950 | H.225 TCP接続要求に応答がありません。 | 接続に使用するTCPのポート設定を確認してください。 |
| | 951 | H.225 setup応答 (callproc/alert) 待ちで切断 (H.225 TCP異常またはタイムアウト) されました。 | |
| | 952 | H.225 connect送信に失敗しました。 | |

| メッセージ | 切断理由コード | 切断理由 | 処置 (一例) |
|-----------------------|---------|--|----------------------------|
| 接続できませんでした。 | 960 | 発呼側H245_TCP接続に失敗(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。 | 接続に使用するTCPのポート設定を確認してください。 |
| | 961 | 着呼側H245_TCP接続に失敗(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。 | |
| | 962 | H245 能力交換中で切断(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。 | |
| | 963 | マスター/スレーブネゴ中で切断(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。 | |
| | 964 | 音声チャンネルオープン要求応答待ちで切断(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。 | |
| | 965 | 画像チャンネルオープン要求応答待ちで切断(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。 | |
| | 966 | データチャンネルオープン要求応答待ちで切断(H.245 TCP異常またはタイムアウト)しました。 | |
| | 967 | 通信中のコマンド送信失敗(H.245 TCP異常)です。 | |
| | 970 | ルータWAN通信不可状態で、発呼がありました。 | |
| ルータの異常です。 | 971 | ルータからdisconnected NOTIFYを受けました。 | ルータの設定を確認してください。 |
| | 972 | GET EXTERNAL IP ADDRESSにルータが無応答です。 | |
| SIP設定に誤りがあります。 | 400 | リクエストが異常なシンタックスのため理解できなかったことを示します。 | SIP設定を確認してください。 |
| | 401 | リクエストはユーザ認証が必要です。 | |
| SIPサーバから接続を拒否されました。 | 403 | SIPサーバはリクエストを理解しましたが、実行することを拒否しています。 | 相手先のSIPサーバへの登録状況を確認してください。 |
| 相手先がSIPサーバに登録されていません。 | 404 | Request-URIで指定されたドメインにユーザが存在しない、またはそのSIPサーバがダウンしました。 | |
| 接続できませんでした。 | 405 | Request-URIで特定されるアドレスに対して許可されていません。 | SIP設定を確認してください。 |
| | 406 | Acceptヘッダから判断された結果、受け入れられない内容を持っていました。 | |
| SIP設定に誤りがあります。 | 407 | プロキシサーバが送信するもので、Proxy認証が必要であることを示します。 | SIPサーバ担当部門に確認してください。 |
| SIPサーバから応答がありませんでした。 | 408 | リクエストがタイムアウトしました。 | 相手先のSIPサーバへの登録状況を確認してください。 |
| 接続できませんでした。 | 409 | そのリクエストは現在の状態のリソースと矛盾するため完了できませんでした。 | SIPサーバ担当部門に確認してください。 |
| | 410 | リクエストされたリソースがそのSIPサーバでもはや利用不可能で、転送先のアドレスも分からない状態です。 | |
| | 411 | 定義されたContent-Lengthの無いリクエストを拒否しました。 | |
| | 412 | 1つ以上のリクエストヘッダフィールドで与えられた条件がSIPサーバ上のテストで不正であると判断しました。 | |
| | 413 | リクエストのエンティティが大きすぎるため拒否しました。 | |
| | 414 | リクエストURIが長すぎるため拒否しました。 | |

| メッセージ | 切断理由コード | 切断理由 | 処置（一例） | |
|----------------------|---------|---|----------------------|----------------------|
| 接続できませんでした。 | 415 | サポートされていないメディアタイプであるため、SIPサーバはリクエストのサービスを拒否しました。 | SIPサーバ担当部門に確認してください。 | |
| | 416 | Request-URIのURIのスキームがSIPサーバの知らないものなので、SIPサーバはリクエストを処理できません。 | | |
| | 417 | Expectリクエストヘッダフィールド拡張が受け入れられません。 | | |
| | 420 | Proxy-RequireまたはRequireヘッダフィールドで指定されたプロトコル拡張をSIPサーバは理解しません。 | | |
| | 421 | リクエストを処理するために特定の拡張を必要とします。 | | |
| | 423 | リクエストによってリフレッシュされたリソースの有効期限時間が短すぎるため、SIPサーバがリクエストを拒否しました。 | | |
| | 480 | 着呼側のエンドシステムにうまくコンタクトしたが、着呼側は現在電話を受けられません。 | | |
| | 481 | 既存のどのダイアログやトランザクションにもマッチしないリクエストをUASが受信しました。 | | |
| | 482 | SIPサーバがループを検知しました。 | | |
| | 483 | SIPサーバが値ゼロのMax-Forwardsヘッダフィールドを含むリクエストを受信しました。 | | |
| | 484 | SIPサーバが不完全なRequest-URIを持つリクエストを受信しました。 | | |
| SIP設定に誤りがあります。 | 485 | Request-URIが不明瞭です。 | SIPサーバ担当部門に確認してください。 | |
| 相手先から切断されました。 | 487 | リクエストはBYEまたはCANCELリクエストで終了させられました。 | | |
| 接続できませんでした。 | 488 | 受入不能。Request-URIでアドレス指定された特定のリソースに対してのみ適用されます。 | | |
| 着信が取り消されました。 | 491 | 同じダイアログ内にベンディング中のリクエストを持つUASに受け取られました。 | | |
| 接続できませんでした。 | 493 | 解読不能（暗号化されています）。 | | |
| SIPサーバ異常のため接続できません。 | 500 | SIPサーバ内部エラー。 | | SIPサーバ担当部門に確認してください。 |
| | 501 | SIPサーバはリクエストを遂行するために必要とされる機能をサポートしていません。 | | |
| | 502 | ゲートウェイやProxyとして動作しているSIPサーバがリクエストを実行しようとしたら不正なレスポンスを受信しました。 | | |
| | 503 | SIPサーバは一時的な過負荷またはメンテナンスのため、一時的にリクエストを処理できません。 | | |
| | 504 | リクエストを完了するために必要なレスポンスを、DNSなどのSIPサーバから受信できなかった。 | | |
| | 505 | SIPサーバはリクエストで使用されたSIPプロトコルのバージョンをサポートしていないが、サポートを拒否しています。 | | |
| 相手先がSIPサーバに登録されていません | 513 | メッセージ長がSIPサーバの処理能力を超えたので、SIPサーバはリクエストを処理できませんでした。 | SIPサーバ担当部門に確認してください。 | |
| | 604 | Request-URIで示されたユーザがどこにも存在しません。 | | |
| 接続できませんでした。 | 606 | コミュニケーションを望んでいるが記述されたセッションを十分にサポートできません。 | SIPサーバ担当部門に確認してください。 | |

故障かな？

| 症状 | 対策 |
|-------------------|--|
| POWERランプ（緑）が点灯しない | <ul style="list-style-type: none"> ・ MEDIAPPOINT IP3本体にACアダプタが接続されているか確認してください。 ・ ACアダプタが電源コンセントに接続されているか確認してください。 ・ 電源コンセントからACアダプタのプラグを抜き、再度電源コンセントに接続してください。 |
| テレビの画面に何も映らない | <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビのチャンネルまたは入力切替を確認してください。 ・ ビデオケーブルの接続がゆるくなっていないか確認してください。 ・ MEDIAPPOINT IP3本体の主電源スイッチがONになっているか確認してください。 ・ MEDIAPPOINT IP3本体の「POWER」ランプが橙色に点灯（OFFの状態）していないか確認してください。リモートコントローラの電源ボタンを押して緑色に点灯（ONの状態）することを確認してください。 ・ カメラの設定が、使用するカメラ（カメラ1/カメラ2/書画/VTR）になっているか確認してください。 |
| 画像が乱れている | <ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオケーブルの接触がゆるくなっていないか確認してください。 ・ IP回線でベストエフォート型の回線を使用している場合には、回線が混雑すると通信中に画像が途切れたり、止まったりすることがあります。混雑していない回線を使用してください。 |
| 画面の端が切れている | <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビの画面表示位置がずれている可能性があります。テレビで画面表示位置の調節を行ってください。 |
| スピーカから相手の声が聞こえない | <ul style="list-style-type: none"> ・ 音量が最低になっていないか確認してください。 ・ 相手のマイクがオフになっていないか確認してください。 |
| 自分の声が相手に伝わらない | <ul style="list-style-type: none"> ・ AMU-3100がマイクオフになっていないか確認してください。 ・ AMU-3100の適性な集音性能は半径1メートル程度に設定されています。AMU-3100から2m以内（推奨1m）の距離でお話してください。 |
| ハウリングがおこる | <ul style="list-style-type: none"> ・ AMU-3100を壁や遮へい物のそばから離してください。 ・ スピーカやマイクロホンをふさいでいないか確認し、適当な音量に調節してください。 |
| AMUランプ（橙）が点灯したまま | <ul style="list-style-type: none"> ・ AMU接続ケーブルが間違っって接続されていないか確認してください。 |
| リモコンが効かない | <ul style="list-style-type: none"> ・ MEDIAPPOINT IP3本体に向けて操作してください。 ・ リモートコントローラの電池が切れていないか確認してください。 ・ 電池を交換する際には、正しい向きで2本同時に新しい電池と交換してください。 |
| 相手先とつながらない | <ul style="list-style-type: none"> ・ 回線ケーブルがつながっているか確認してください。 ・ IP回線でルータに接続している場合は、ルータの設定がH.323で通信ができるように設定されているか確認してください。 ・ 「切断理由コード」（26ページ）を参照して対処してください。 |

アフターサービス

修理を依頼するときは、次のことをお知らせください。

- お名前、住所、電話番号
- 機種名： MEDIAPOINT IP3
- モデル： TC-3150
- ご購入年月日
- シリアルナンバー(本体製造番号)： 本体底面に記載(「取扱説明書」(5-2ページ)を参照)
- 故障の状態(できるだけ詳しく)

アフターサービスについて

- 修理を依頼する前に、もう一度本書および取扱説明書をご覧になり、故障かどうかご確認の上、お買い求めの販売店またはVOICEPOINTセンターにご依頼ください。

VOICEPOINTセンター

フリーダイヤル 0120-343010

ホームページ <http://www.nec-eng.co.jp/>

MEDIAPOINT IP3 の情報提供

ホームページ(<http://www.nec-eng.co.jp/>)でMEDIAPOINT IP3に関する以下のような情報を提供しています。

- 取扱説明書
本書に記載していない設定、操作に関するより詳細な内容を記載しています。
付属品として添付している取扱説明書(CD-ROM)の最新版となります。
- Q&A
- 最新ファームウェアに関する情報
- オプション機器情報
- IPネットワークへの接続のための技術情報
- 他のテレビ会議システムとの接続実績に関する情報

オプション品

| オプション | 品番 |
|----------------|--------------|
| 専用カメラ（ケーブル無し） | PST-CAM2 |
| カメラ制御ケーブル（3m） | TC-2100-C1 |
| 専用リモートコントローラ | TC-2100-RC |
| AMU-3100 | TC-3100-AMU |
| AMU接続ケーブル（10m） | TC-2200-MC10 |

仕様

MEDIAPOINT IP3

| 項目 | | 仕様 | |
|------------|-----------------|---|---------------------|
| 国際標準 対応 | 端末 | H.323、SIP、アナログ電話 [プッシュ（トーン）回線のみ] | |
| | 画像符号化 | H.261、H.263、H.263+、H.264 | |
| | 音声符号化 | G.711、G.722、G.728、G.729A、G.722.1C/Polycom® | |
| 通信 | 回線インタフェース | IP (Ethernet) | 10BASE-T/100BASE-TX |
| | | TEL | アナログ電話回線 (RJ-11) |
| | 通信速度 | IP (Ethernet) | 64~1920kbps |
| 映像 | 内蔵カメラ | 41万画素CCDカメラ、電動 (PAN/TILT) 光学2倍/デジタル2倍ズーム | |
| | VIDEO出力 | RCA x 1、S-VIDEO x 1、RGB x 1 | |
| | VIDEO入力 | RCA x 1、S-VIDEO x 1 | |
| | 解像度 | 4SIF (704 x 480)、2SIF (352 x 480)、CIF (352 x 288)、 QCIF (176 x 144)、静止画 (704 x 576)、 RGB (XGA、SVGA、VGA) | |
| | フレーム数 | 最大30フレーム | |
| 音声 | AMU (標準添付) | 広帯域 (7kHz / 14kHz) エコーキャンセラ内蔵マイクを標準添付 | |
| | AUDIO出力 | RCAX2 | |
| | AUDIO入力 | RCAX2 | |
| 制御 | システム制御 (Irリモコン) | 専用リモートコントローラを添付 | |
| | 外部カメラ制御 | カメラ制御端子に専用電動カメラを接続 | |
| | シリアル制御 | DIN8PIN・調歩同期・9.6kbps~115.2kbps (カメラ制御端子にパソコン接続用ケーブルを接続) | |
| 諸元 | 質量/寸法 | 3.0kg以下/約330mm (幅) x 215mm (奥行き) x 80mm (高さ) (突起含まず) | |
| | 電源 | 本体ACアダプタ (100~240V) / 約30W (AMU-3100を含む) | |
| | 動作環境 | 温度: 5~35°C / 湿度: 20~80% (結露無きこと) | |

AMU-3100 (Advanced-Microphone Unit)

| 項目 | | 仕様 | |
|-----------|-----------------------------|---|----------------------|
| 音声 入出力 | 本体接続コネクタ | インタフェース | 専用デジタル音声インタフェース |
| | | コネクタ方式 | 専用コネクタ (専用ケーブルにより接続) |
| | 内蔵マイク | 本体3か所に内蔵 | |
| 表示操作 | 操作キー | マイクオフボタン | |
| | LED表示 | 本体3か所に内蔵 (マイクオフ状態表示/話者方向表示) | |
| 信号処理 | 音声帯域 | 50Hz~7kHz/50Hz~14kHz (音声符号化により切替動作) | |
| | エコー消去方式 | エコーキャンセラ+エコーサプレッサ | |
| | ABF (Adaptive Beam Forming) | マイクレベルによる適応動作 | |
| 諸元 | 質量/寸法 | 500g以下/約145mm (幅) x 130mm (奥行き) x 22mm (高さ) | |
| | 電源 | 4W以下 (本体より電源供給) | |

< MEMO >

